

アワセゴルフ場まちづくり方針

調査の目的

アワセゴルフ場地区の概要や跡地利用に向けたこれまでの取組みや今年度調査の目的を整理すると、以下のとおりである。

《地区の概要》

アワセゴルフ場地区は平成8年3月に開催された日米合同委員会において『高手納弾高庫地区内(旧東恩納弾高庫地区)への移設』を条件に返還合意された面積約48haの軍用地である。



《これまでの取組み》

- 平成16年度：跡地利用計画基礎調査
- 平成17年度：まちづくり基本構想決定
- 平成18年度：跡地利用基本計画策定
- 平成19年度：まちづくり実現化支援
- 平成20年度：跡地利用整備計画策定
：自然環境調査

《今年度調査の目的》

平成20年度に策定された跡地利用整備計画を踏まえ、まちづくりデザイン検討を行い、アワセゴルフ場地区の整備方針と将来用途地域等を検討し、地区計画の策定を行った。また、地権者勉強会、検討委員会を運営し、将来的な土地活用についてイメージを共有し合意形成の醸成を目的として実施する。

2. まちづくりの方向性



■広域観点からみたアワセゴルフ場地区の位置づけ

アワセゴルフ場地区のまちづくりの方向性は、位置的な特性を踏まえ、平成20年度に変更された『北中城都市計画マスタープラン』で、次のように位置づけられている。

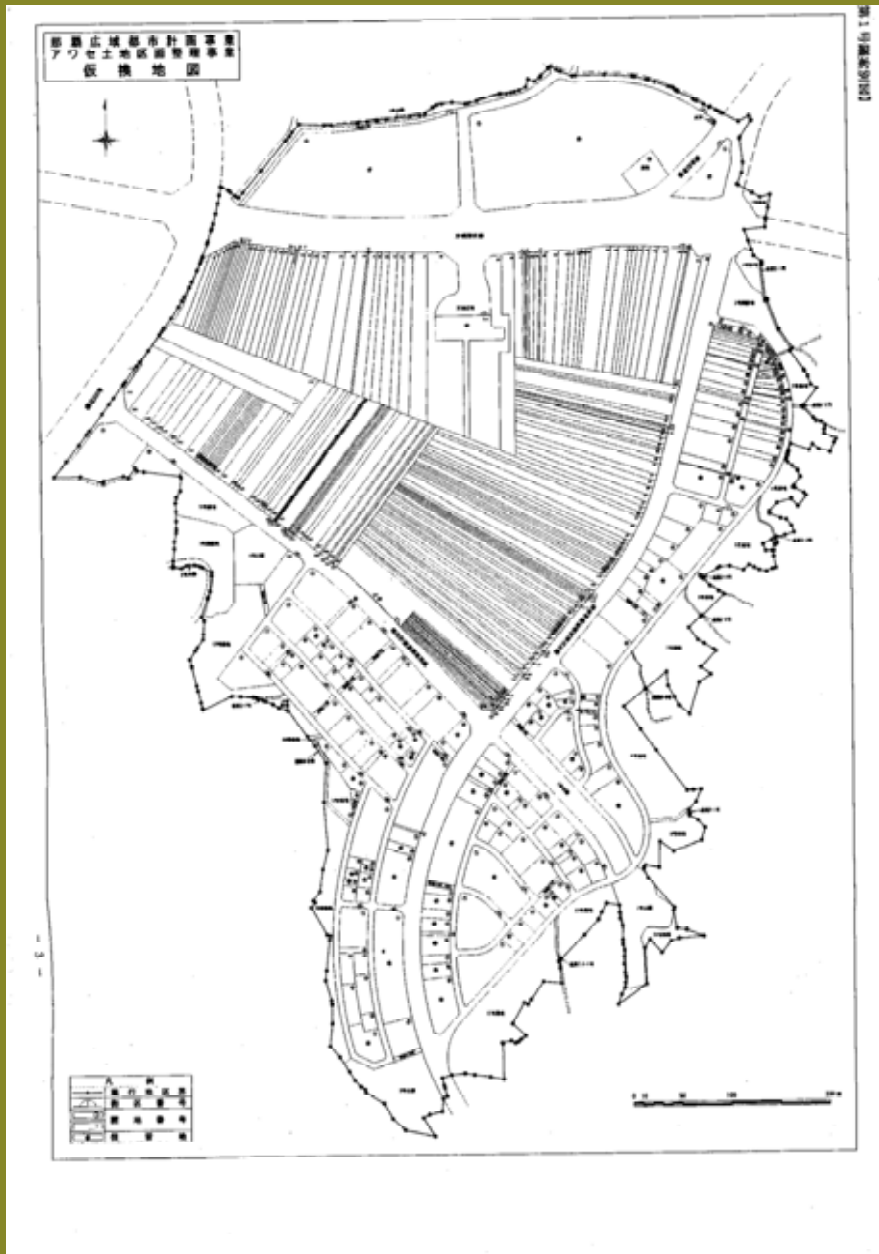
**沖縄県中部圏域における広域交流拠点の形成
北中城村の新たな顔となる拠点の形成**

まちづくりの方針

『環境』『健康』『観光』の3つの理念をまちづくりの方針とし、多くの機能を複合した広域交流拠点を形成するまちづくりを目指す。

(3つの理念)	(キーワード)	(必要な要素)
<p>環境を創造する交流拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境の保全・再生 ● 地域特性を活かす ● 良好な景観の形成 ● 道路環境の整備 ● 公共交通の利用 ● 地球環境への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園・緑地の整備 ・緑の保全と緑化の推進 ・眺望・オーシャンビュー ・地域の歴史、文化、産物 ・環境共生・若者ネ ・道路網、橋、花透緑帯 ・公共交通(バス、タクシー等) ・景観配慮設計
<p>健康を創出する交流拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 穏やかで文化的な生活 ● 安全・安心のライフ ● 健康スポーツの推進 ● 長寿、子育て等の福祉の充実 ● 食の安全 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活利便・防災、防犯 ・良好な住環境 ・バリアフリー化 ・医療、福祉施設 ・健康増進・スポーツ施設 ・子育て支援・休息・癒し ・農産品等の販売
<p>観光を振興する交流拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 1F・2F・3Fの拠点 ● 沖縄文化とのふれあいの場 ● 滞在型観光の推進 ● 2F・3F(1F・2F) ● 魅力ある空間の創造 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物・沖縄土産 ・食事、沖縄料理・宴会 ・地産地消・アワード ・映画・音楽・踊り ・リゾートホテル ・リゾートマンション ・セカンドハウス ・スポーツ交流

アワセ土地地区画整理事業土地利用と換地計画



那覇新都心地区土地利用とアワセ土地区画整理地区の土地利用比較

3) (仮称)交流プラザ付近から (仮称)アワセメドウズ公園方向への眺望

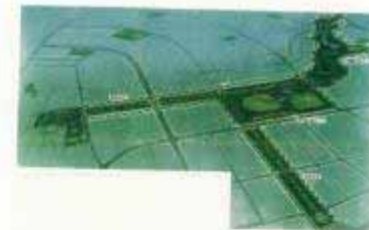


- (仮称)交流プラザと(仮称)アワセメドウズ公園の間に公園を配置することで、複合型商業交流施設ゾーンや(仮称)地区内東西線方向から(仮称)アワセメドウズ公園への動線の確保が図れます。
- 集合住宅ゾーン及び戸建住宅ゾーンの建物の屋根を勾配屋根に統一し、屋根の色彩についても同系統の色彩にすることにより、まちなみの連続性が生まれます。

(仮称)交流プラザ



(仮称)アワセメドウズ公園



北中城村まちづくり基本計画 【概要版】



造成前航空写真及び道路計画図 平成25年5月南側



造成前航空写真及び道路計画図平成25年5月北側

